



No.398 令和5年9月28日

# おおたこうれん

発行所  
東京都大田区南蒲田1-20-20  
電話(3737)0797・FAX(3737)0799  
一般社団法人大田工業連合会  
発行人 会長 広瀬 安宏  
E-mail: office@ootakoren.com  
ホームページ: https://ootakoren.com  
印刷所  
東京都大田区大森西4-6-13  
電話(3766)1711  
株式会社 気生堂印刷所



ITコーディネーターと面談する(株)井上製作所の井上健太郎社長

本事業では、2024年1月までに、経営者とITコーディネーターが6〜10回面談を行う。1年でデジタル化が完了することはないが、課題の洗い出

「今回の支援事業では、専門家と経営者がタッグを組み、会社の本質的な課題を分析・解決していきます」と荒井氏は語る。デジタルに精通した経営コンサルタントであるITコーディネーター6名がデジタル化に意欲的な、区内企業6社(井上製作所、堤工業、長島工業所、西居製作所、日新電気、原田精工所)を訪問。経営者との面談の中で、各社の経営課題を分析し、デジタル化による解決を図っていく。「デジタルの導入に至らずとも課題が解決できるならばそれもアリです」と荒井氏。目的はあくまで、各社の業務効率化だ。



工代ゆかり係長



荒井大悟課長

少子高齢化による深刻な人手不足が続くなか、企業は蓄積したデータによるイノベーションの創出や、デジタルツールの活用による業務効率化が必要となっている。しかし、事業規模が大きく専門人材を擁する大企業と違い、中小企業ではリソースも効率化の範囲も限られ、デジタル化の恩恵を受けにくい。結果として、デジタル化に消極的になってしまふ。大田区に立地する小規模な中小製造業も同様であり、デジタル化が進んでいるとはいえない。そこで、大田工業連合会と大田区は、伴走型のデジタル化支援を8月から開始した。同事業の内容について、

大田区産業経済部の荒井大悟産業調整担当課長、工代ゆかり産業振興担当係長に聞いた。

大田区ではこれまでも、デジタル活用に関するセミナーを開き、支援メニューをまとめたサイト「OTAデジタルPIO」を立ち上げるなど、区内製造業のデジタル化をサポートしてきた。しかし、セミナーを聴講に来るのも、OTAデジタルPIOを訪れるのも、デジタルについて基礎的な情報を持っている人に限られた。デジタル化に抵抗感を持つ経営者の場合、支援が届かない問題があった。

「伴走支援でデジタル化・効率化が図られれば、地域のモデルケースになり、他の企業に効果が波及しやすくなる」と工代氏は語る。確かに、セミナーの講師が語るところの成功例より、隣近所の顔見知りの方が、経営者の心に響くだろう。「仲間まわし」など地域の連携が強い大田区ならば、点が線、線が面となり、デジタル化の波が広がりそう。

## 大田工連 × 大田区 中小製造業のデジタル化支援

### おおた少年少女発明クラブへの協賛金(寄付金)ご協力をお願い!

大田区内の子どもたちに技術や科学に対する興味、関心を喚起する場を提供し、大田区が誇るものづくりの楽しさを体験することによって、創造性豊かな人材育成を進めることを目的に、「おおた少年少女発明クラブ」を運営しています。そのため、クラブでは、区内企業様にものづくりの未来を担う子どもたちの活動へのご支援をお願いしています。寄付金は所得税法上の寄付金控除、または法人税上の損金算入額の特例が受けられます。

#### 「おおた少年少女発明クラブ」事業概要

対 象	区内在住・在学の小学4〜6年生
活 動 期 間	毎年4月〜翌年3月 ※募集は毎年3月初旬予定
内 容	ものづくりの楽しさを体験学習させる機会を継続的に提供し、技術や科学に対する興味・関心の喚起、子どもの創造性を伸ばすことで、将来の大田区のものづくりを支える人材育成に寄与することを目的としています。年間20回程、土曜日の午後に活動を行い、工場見学なども行います。



8月22日に開催した全国少年少女チャレンジ創造コンテスト大田地区大会

お問い合わせ  
申し込み

公益財団法人大田区産業振興協会 (勤労・人財セクション 人材育成・確保担当)  
TEL 03-3733-6199 FAX 03-3733-6459 受付時間 9:00〜12:00 / 13:00〜17:00 月曜日〜金曜日(休祝日・年末年始を除く)  
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20 大田区産業プラザ



古紙パルプ配合の再生紙を使用



サイバーセキュリティ最新データ

国内初！サイバー攻撃により大規模物流拠点が麻痺！

2023年7月4日、国内有数の港湾である名古屋港にて、コンテナの搬出入ができなくなる事件が発生しました。原因は、名古屋港の全5つのターミナルを管理するシステムがサイバー攻撃により使えなくなっただけです。

名古屋港の取り扱う年間貨物量は日本第4位であり、1日あたり7500ものコンテナを搬出入する一大物流拠点です。この名古屋港全体を管理しているサーバー全てがランサムウェアに感染し、システムを使った港湾業務が一切できなくなりました。その結果、①コンテナの積み下ろしが3日間ストップ②周辺道路は終日トラヒーク渋滞③トヨタ自動車は4拠点を工場稼働停止など、周辺の地域や企業に大きな影響を及ぼしました。

名古屋港が利用しているネットワーク機器にはセキュリティパッチが適用されていませんでした。そのためランサムウェアが不正侵入し、ネットワーク内で感染拡大しました。

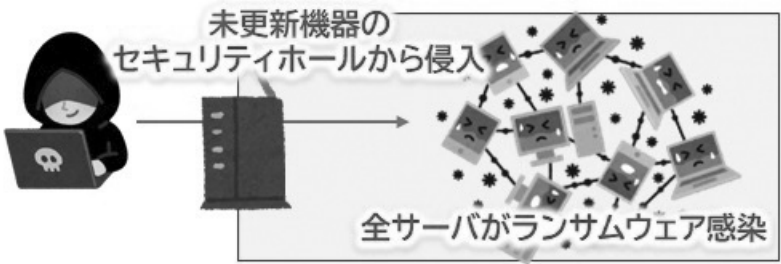
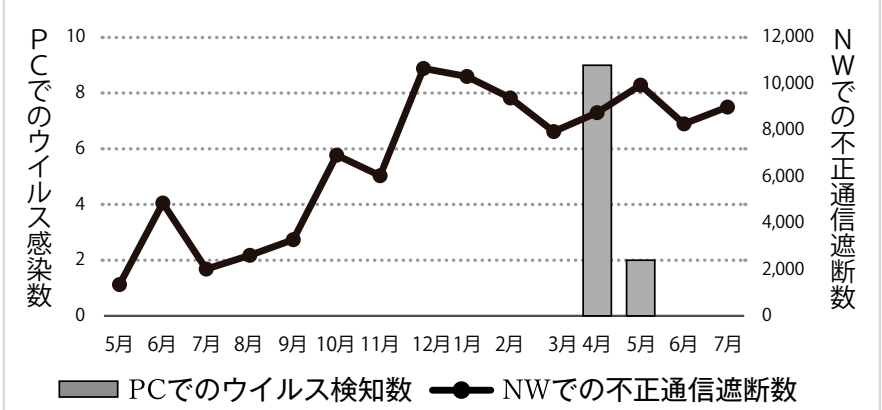
同様の不正アクセスは、最近猛威を振るっており、不正侵入の約7割を占めていると言われています。トヨタ自動車の全工場停止を引き起こ

した小島プレス工業のセキュリティ事故や、2ヶ月以上通常診療を停止することになった大阪急性期・総合医療センターのセキュリティ事故も、同じ原因によるものです。

そのため、ネットワーク機器やパソコンに最新のセキュリティパッチを適用することは、非常に重要なセキュリティ対策となります。

なお、名古屋港のセキュリティ事故においては、バックアップを適切に取得していたため、約3日という短期間で港湾業務の復旧ができています。そのため、万が一に備えたデータのバックアップも重要となります。

サイバー攻撃件数の推移



「当会会員企業におけるサイバー攻撃状況」

大田工業連合会の会員企業約30社で利用しているセキュリティサービスの検知状況を報告します。不正通信数は昨年末から毎月1万件弱で高止まりしており、サイバー攻撃の脅威が激化していることがわかります。実際に4、5月はパソコン上でのウイルスも検知されており、セキュリティ脅威が身近に迫っている状況です。なお、これらの検知されたウイルスはセキュリティサービスにより当該企業に通知の上、駆除いただいています。サイバー攻撃を実際に受けてしまった場合、すぐに検知し対処できる備えが大切となりますので、必要なセキュリティ対策を講じることをご検討ください。

当会は引き続き、皆様のセキュリティ対策強化を推進します。何かありましたらお気軽にご相談ください。

『おおむすび』をご存知ですか？

『おおむすび』とは、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を目指す取組みのことです。具体的には、以下の活動等を行っています。



軽作業の受注

清掃、ポスティング、封入作業、シール貼り等の軽作業をお受けしています。  
「こんな仕事はどうか？」と思うこと、なんでもお気軽にお尋ねください。

お菓子・雑貨などの販売

各施設で製造している焼菓子や雑貨などの商品（自主生産品）を区施設（常時）・商業施設等（随時）で販売しています。

ご要望に応じて、箱詰め等のセット販売（※1）のご注文を受けており、大田区土産としてご利用いただけます。

焼菓子や雑貨以外にもパン・お弁当も製造しており、イベント等での出張販売も行っております。お気軽にご相談ください！

※1）〔贈答用箱詰め等商品例〕  
おおむすびデラックスセット（箱詰め）1,000円・1,500円・2,000円等  
おおむすびプチセット（かわいいラッピング）300円・500円等  
＊ご注文は、1セットからお受けします。2週間前までにご注文ください。



おおむすびプチセット



おおむすびDXセット

問い合わせ先

大田区生産活動支援施設連絡会

（おおむすび連絡会）[事務局：志茂田福祉センター]  
〒144-0056 東京都大田区西六郷1-4-27  
☎ 03-3734-0763  
FAX 03-3734-0797  
E-mail shinkama@city.ota.tokyo.jp



おおた生産連 HP



大田区 HP





親子でロボット作りに集中

夏休みも終わりが近づく8月26日、27日、大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は、大田区産業プラザPiO1階の大展示ホールにて、親子でモノづくりを楽しむ「ロボット作り教室」を開催した。大田区在住の小学1年生から4年生を対象で、保護者同伴で各回約100組200名、合計約400名が参加した。26日朝の教室開催にあたり、当会の広瀬安宏会長は「みなさんはプラモデルを作ったことがありますか。

モノを作る楽しみや喜びを完成した時に味わってもらえると思います。今日は夏休みの思い出の1ページになるよう、お父さん、お母さんと頑張ってロボットを作って欲しいです」とあいさつした。参加者は10班に分かれて作業した。今回作るロボットは、芝浦工業大学の事業法人である(株)エスアイテックが教材として製造・販売する二足歩行ロボット「ステッピィー」。同社が講師を務め、

解説したほか、各班に指導員がついてサポートした。西川恭子事務局長は「長丁場になりますが、スタッフの方々が必ず最後まで仕上がるように応援してくれるので、安心して取り組んでください」と呼びかけた。

教材は組み立て式のギアボックスや、2チャンネルリモコンボックス、ロボット本体(筐体)で構成する。まずはギアボックスの製作からスタート。親子は説明書とにらめっこしつつ、慎重にパーツを組み立てた。

ねじを締め、グリスを塗るなど細かい手作業に集中した。リモコンボックスの組み立てでは配線が絡まらないよう穴に通すことが難しい様子だった。

昼休みの時間、子供たちは会場の後ろに展示しているロボットの完成品見本を観察・操作して楽しんだ。午後は、午前の残りの作業を行い、最後に本体を組み立てて完成させた。ロボットに羽をつけるなど飾りつけをする子もいた。終わった人から会場後ろの競技スペースにロボットを持って行き、操作して動作を確認。倒れたりうまく歩けなかったりするとまた作業テーブルに戻り部品を調整し



綱渡りに成功

た。スマートに歩けるようになると、ロボット同士を「バトル」させる姿もみられた。

ステッピィーは二足歩行だけでなく、綱渡りもできる。腕をゆくりとロープにひっかけ、綱を渡ると親子の歓声があがった。小学2年生の男の子は「何回もやり直してできた」と満足そうな表情をみせた。

次世代にモノづくりの魅力を実感してもらうための同イベント。子供たちにとって、「どうやらうまくいくか」と試行錯誤しながら手を動かす、貴重な体験となった。

## 福利厚生の充実で、人材確保・人材定着へ

大田区勤労者共済は、公益財団法人大田区産業振興協会が運営する区内中小企業向けの福利厚生サービスです(令和5年8月1日現在 1,323 事業所、4,031 人が加入されています)。わずかな掛金(入会金 200 円、月会費 500 円)で、社員の皆さんが楽しく、充実した生活を過ごしていただく環境を提供。事業主や社員、そのご家族と一緒に楽しめます。



- ★今日、若者が仕事を選択する際、「福利厚生が充実していること」を重要視しています。
- ★心豊かな生活を送ることが、明日の働く力につながります。

当共済サービスを活用して、人材の確保に、人材の定着につなげていきましょう!!

### 提供サービスの内容(一例)

- ・慶弔費の給付...各種祝金(結婚・出産等)・祝品(入学・継続)、見舞金、弔慰金
- ・映画券...1,000 円から提供。デジタルチケットもあります。
- ・食事券...有名ホテルのグルメがお手頃価格(例:品川プリンスホテルランチ 5,650 円⇒4,200 円)
- ・入浴券...公衆浴場のセット券やおふろの王様(大井町店)が割引価格でご利用可能
- ・その他...観劇、コンサート、スポーツ観戦、レジャー施設等の割引券も斡旋しています。

まだまだいっぱいありますよ(^^)/



よく働き、  
よく遊ぼう!!

大田区勤労者共済 検索

お問合せ・資料請求

TEL03-3733-6107【大田区産業プラザ(PiO) 3 階】  
受付時間 9:00 ~ 17:00 月~金曜日(休祝日・年末年始を除く)



# 小学生による「アツいモノづくり見学 産業のまち発見隊開催

大田工業連合会と大田区は、小学生による工場見学イベント「産業のまち発見隊」を8月に開催した。同イベントは大田区内に在住・在学の小学4年生から6年生の児

童と保護者が参加するバスツアーで、午前はモノづくりの製造現場を見学し、午後は親子でモノづくり体験ができるイベントだ。8月4日、24日に開催。8月4日には

22組44人、24日は23組46人の親子が参加。真夏の日差しよりもアツい、大田区のモノづくりを体験した。

8月4日の午前には、京浜島にある(株)畠山鐵工所を訪問した。同社は船舶や発電所の設備に使われる、大型鉄鋼部品の鍛造、熱処理、機械加工を手がけている。真っ赤に焼けたインゴット(鉄塊)を

巨大なプレス機で鍛える仕事のため、工場内は立ちこめる熱気でサウナのような。子供たちは暑さに驚きながらも、巨大な赤い鉄塊が加工される風景を、じっと見つめていた。熱い鉄塊の向こうの風景は、陽炎のように揺れていた。

発見隊を招いた畠山和也社長は、自社の事業について動画を使って説明。「当社は鋼を鍛える会社です。鉄と鋼の違いは、他の成分が混ざっているかどうか。お米とチャーハンと考えるもらえるとかわりやすいかと思えます。鋼は鍛えると粘り強くなるのです。これはお米を叩いてお餅を作ることをイメージしてもらえればと思います」と分かりやすい語り口で、子供たちの興味を集めた。

午後は、羽田空港近くにある東京都立職業能力開発センター大田校に移動した。こちらでは同校の教育設備である汎用旋盤や小型マシニングセンタを使い、オリジナ

ルのテープカッター作りに挑戦した。子供たちは、教員のサポートを受けつつ工作機械を操作し、各自が考えた文字や絵のデザインをレーザー加工機で刻印、世界でひとつだけのテープカッターを作り上げた。巨大な機械を動かす我が子の挑戦を、親たちは目を細めて見守った。

8月24日に開かれた第2回では、午前にねじやボルトなど金属部品のメーカー、(株)桂川精螺製作所で工場見学やねじの製造体験を実施した。同社の部品は自動車やバイクに使用されるため、高い精度が求められる。昨年12月、小型月面探査車「YAO KI」を開発した宇宙ベンチャーの(株)ダイヤモンドパートナー契約を結んでおり、YAO KIに使用するねじの開発も進めている。

桂川精螺の大島達士取締役は、クイズを交えながら会社の概要や強みについて説明した。子供たちは桂川精螺の「螺」の字が「螺子」を表していることや、同社の製品は金属を金型に押し当ててプレスする「塑性加工」で加工していることなどを学んだ。

工場見学の後は、手動の加工機でねじの製造も体験した。ハンドルを回してねじの溝を作る「ローリング」の工程を体験した子は「結構力がいる」と驚いていた。今回、参加者が作ったねじの一部は



教員の指導を受けながら、工作機械を操作



手動の加工機でねじを製造



バーサライタが写す文字をパソコンで制作

月に行ける可能性がある。ダイヤモンドの中島紳一郎社長が「小さい会社から民間初の月面探査を目指します」と話すと、子供たちは目を輝かせた。

午後は日本工学院専門学校蒲田校に移動し、LEDを左右に高速で動かすことで、残像で好きな文字や絵を表示できる「バーサライタ」作りを行った。まずは抵抗をハンダ付けして回路を製作。同校の学生のサポートを受けつつ、

子供たちは慎重に手を動かした。「ハンダごてを離すタイミングが難しい」と苦戦している子もいた。

その後、各々が自由にデザインした文字やイラストをパソコンの画面に入力。限られたドット数で複雑な漢字や絵などを表現できるよう、試行錯誤を重ねていた。完成したバーサライタを振ってデザインした通りに表示されているか親子で確認し合っていた。